

ふるさといわきを応援し、地域の情報やお役立ち情報を皆様にお届けいたします。

いわきマーチング通信



新しい景色を目指して

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
昨年の世相を表す漢字は「戦」でした。
ロシアによるウクライナへの侵略では、
多くの悲しみ生まれ、それは未だ続いています。
カタールで開催されたワールドカップでは、
シナリオのない真剣勝負に多くの人たちが
勇気づけられました。
もうしばらくはコロナウィルスとの共存が
続きそうな本年も、私たちはひとりひとりが
お客様の立場に立ち、
新たな舞台へ「挑戦」してまいります。
どうぞよろしくお願いたします。

令和5年 新春

株式会社いわき印刷企画センター
代表取締役 鈴木一成
社員一同

「赤井」の今むがし

関 伽井 嶽 楽 師

いわきひとまう風景

磐越東線赤井駅は、1915年(大正4)7月、平一小川郷が平郡東線として開通した際に、駅が開設されたのが始まりでした。1917年(大正6)10月には、平一郡山が全線開通して磐越東線と改称されました。

それまで、赤井駅西方で産出される石炭は、赤井軌道(明治40年に赤井村字常住一平駅裏に敷設)によって運ばれ、平(現いわき)駅で積み替えられて市場に送り出されました。当時、平駅は石炭積出駅としてにぎわっていたのです。

平一赤井に鉄道が敷かれると、石炭積み込みも最寄りの赤井駅となり、常住からの赤井軌道は赤井駅まで短縮され、鉄道開通以降、赤井駅は石炭積出駅となりました。

こうしてみると、赤井駅は、貨物駅オンリーとみられがちですが、年に一度、乗降客でにぎわう赤井薬師例祭の日(かつては旧暦で開催。現在は8月31日、9月1日)がありました。この日には数万人の出入を数え、平駅から1日数本の臨時列車が仕立てられて赤井駅は1日中にぎわいをみせました。

戦前の一時期、赤井産のナシを盛んに出荷

する風景がみられました。1935年(昭和10)10月23日付の新聞『新いわき』をみると、前年の1934年(昭和9)に鉄道を経由して発送されたナシの貨車数が紹介されており、これによると、平駅が62車、赤井駅が53車、綴駅11車、小川郷駅6車などの順で、赤井駅が確固たる地位を築いていたことがわかります。しかし、戦後は自動車輸送で平駅まで運ばれ、ここから市場へ発送されるようになりました。



【赤井駅(昭和55年4月、いわき市撮影)】

1969年(昭和44)10月には手荷物および小荷物の配達取り扱いが廃止、荷物輸送は1984年(昭和59)2月に廃止、さらに1985年(昭和60)3月には無人駅となってしまいました。

現在は上下線共用の線路を1本残すのみの典型的なローカル駅ですが、今でも学生や地元の方に利用されています。

(いわき地域学会 小宅幸一)



【工事中の赤井駅(平成29年11月、いわき市撮影)】

いわきの風景と人の歩み いわきの『今むがし』

<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1511867648848/index.html>

【いわき市公式HP】内の専用ページにてご覧いただけます。



公益社団法人 いわき産学官ネットワーク協会 事業紹介

～今号より『公益社団法人 いわき産学官ネットワーク協会』の事業を連載でご紹介します～

公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会は、いわき地域内外のネットワークを活用して、企業の経営革新、新産業・新事業の創出、雇用の創出を図り、いわき地域の活性化に貢献することを目的として2006年(平成18)5月に設立されたいわき市の中核的支援機関です。

事務局職員のほか、企業支援を担当する産学官連携コーディネータやインキュベーション・マネージャを配置して事業運営にあたっています。また、弁護士や弁理士、中小企業診断士、高等教育機関の研究者等約100名を登録専門家として組織化して地域企業の経営課題解決等を支援しています。こちらでは主な事業についてご紹介いたします。



いわき産業創造館管理運営事業(指定管理者)

いわき駅前LATOV6階の産業交流拠点施設「いわき産業創造館」の指定管理者として、産業交流・産業支援・新産業創造の3つの施設機能を十分に発揮できるよう、ハード・ソフト一体的な施設運営を展開しています。2021年(令和3)10月には館内にシェア・オフィスを整備し、スタートアップや副業・兼業の方々等の新たなビジネス拠点としてご利用いただいています。

創業者支援事業

いわき産業創造館内に整備された全11室の創業者支援室(インキュベート・ルーム)を運営し、スタートアップや創業意欲者等の入居者に対するハード・ソフト両面からの創業支援を実施しています。インキュベート・ルームには起業の専門家(インキュベーション・マネージャ)を配置して、入居者の創業や事業化に向けた個別支援

を行っています。これまで46社のスタートアップに入居いただき、いわき市の新たな産業の担い手として事業活動を継続。近年ではUIターンを受け皿として、市内外からの新規事業者の誘致等にも貢献しています。

事業化支援・技術開発支援事業

産学連携や企業間連携等によって取り組む研究開発・技術開発プロジェクトを公募で選定し、採択事業に対しては、委託形式による資金支援やICSNの産学官連携コーディネータがハンズオン支援を行う等、事業化に向けたプロジェクト支援を実施しています。これまで120余りのプロジェクトを採択していわき市における新事業の創出を図ってきました。

また、国から認定を受けた経営革新等支援機関として、競争的資金をはじめ研究開発費の獲得支援等も併せて実施しています。



販路開拓・海外展開支援事業

「売れるものづくり」を支援するため、国内外の支援機関やカウンターパートと連携し、展示会出展助成や共同出展、海外ミッション派遣等、地域企業の新たな販路の開拓や海外展開に向けた様々な取り組みを支援しています。また、国内外の企業や団体、研究機関等との技術連携や人材交流など新連携への発展を目指したネットワーク構築にも注力しています。

お問い合わせ/アクセス

公益社団法人
いわき産学官ネットワーク協会
(いわき産業創造館 指定管理者)
【事務局】〒970-8026
福島県いわき市平字田町120番地
LATOV 6階 いわき産業創造館内
TEL : 0246-21-7570
FAX : 0246-21-7571
URL : <https://iwaki-sangakukan.com>
E-mail : icsn@iwaki-sangakukan.com

いわき仕事塾

第1回

ICSN いわきものづくり塾

いわき市産業人財育成支援事業のご紹介

連載第1回目は、ICSNが地域人財育成の中核事業として毎年開講している「いわきものづくり塾」

当塾では、いわき市の基幹産業でもある「ものづくり産業」の担い手でもある市内製造業の技術力と地域ものづくり力の向上を目的とした事業で、2008年(平成20)8月に「いわき技塾」として開講以降、機械・金属加工や材料工学等をはじめとした多様なコースを開設し、この間、約5,500

名のものづくり関係者に受講いただきました。

これまでの継続した取り組みと独自性のあるカリキュラム等が認められ、2022年(令和4)7月には特許庁より「いわきものづくり塾」として登録商標されました。

今後も当塾を通じて、いわき地域の人財力と地域ものづ

くり力の向上に貢献していく所存です。

このコーナーではその他、再エネ関連やロボット、DX、SDGs等の近年注力しているカリキュラムについてご紹介する予定です。



ビジネスマッチ東北 2022 秋

執筆：庭田春花

街路樹が黄金色に色付き始めた仙台で、353社の企業が参加する一大イベント「ビジネスマッチ東北2022秋」が夢メッセみやぎで開催され、私たちも参加してきました。

今回私たちは、参加企業様に向けて求人活動対策や自社PRに効果的な「企業映画化プロジェクト」のご紹介をさせていただきました。

この「企業映画化プロジェク

ト」は、実際に所属している社員の皆さんが主人公となり「映画風のポスター」や動画を作成するものです。

それらを実際の合同企業説明会や各種イベントにて展示し、求人活動をしている学生や参加者が、「これ何?」「こんな会社があるのか!」と興味をもってブースの前で足を止めていただけるよう、他社と差別化した求人活動が可能となるツールを制作することを目的としています。

そんなインパクト大の商品の数々を紹介していた当社ブースでは、名刺交換をすると抽選会に参加できるイベントを企画。

多くの方が足を止め、イベントブースは大盛り上がり。

たくさんの方に抽選を楽しんでいただけました。

また、社長もブースに展示したタペストリーのキャラクターと同じ姿に仮装し、会場でまわってアピールし「1番目立っていたよ!」とお声をいただけるほど注目していただ



きました。良い会社が埋もれることなくたくさんの方に注目していただき、効果的に自社PRができる、そんなきっかけ作りに少しでもお役に立てれば嬉しいな・・・と改めて強く思いました。



当日に向けてチームワークバッチリで準備はかどりました!



抽選会も大盛り上がり!たくさんの方に楽しんでいただけました!



みんなで協力して楽しんで参加することができました!たくさんの方に足を止めていただき「1番目立っているよ!」のお声をいただきました。

採用にお困りの中小企業のお客様の相談から誕生した

企業映画化プロジェクトのご紹介!!

新たな人財は、皆様の会社のこれからの成長を左右する最も重要な要因となります

【活用メリット・効果】

「合同企業説明会」などで数ある企業の中から学生や求職者に興味を持ってもらえるきっかけ作りを!!

目を引く

興味を持つ

皆様の会社の紹介につなげる

企業映画化プロジェクトのイメージで貴社のブースをトータルデザインできます



お問い合わせ

Tel.0246-34-4600
ご質問・お見積りもお気軽に
(株式会社いわき印刷企画センター)



いわきの飲食店を応援しよう!

西洋居酒屋 二代目 **はしごだん**

初代「はしごだん」のショットバーを取り入れつつ、多種多様なアルコール(生ビール・ウイスキー・ワイン・日本酒等)を提供しています。
アットホームな雰囲気のお店で、どなた様でも気軽に立ち寄って安心して飲食していただけるように心がけています。

<おすすめメニュー>

当店1番人気メニュー



ジャーマンポテトのチーズ焼 750円(税込)

ハンバーグ及びブルーも 全て手作りの味!



お母さんの手作りハンバーグ 850円(税込)

40年来愛され続けてきた 伝説の味が復活!



テールの煮込み 800円(税込)



☎ 070-2016-8450
 住 いわき市平字田町26 二葉館ビル1F
 営 17:00~22:00
 休 日曜日



いにしえより伝え繋げてきた 流鏝馬神事を継承する飯野八幡宮

執筆: 国井



市指定 有形文化財 幣殿拝殿



国指定重要文化財 楼門

元旦の早朝に行われる歳旦祭には大勢の参拝者で賑わう、飯野八幡宮。合格祈願としてたくさんの受験生も訪れます。私も昔々、高校の合格祈願に家族と訪れました。そして無事合格しました!

本殿などは国指定重要文化財にもなっており、ちょっとしたお散歩にご参拝にいらしてみたいかですか? また、9月には古式大祭及び流鏝馬神事が執り行われます。400年も続くこの神事は作占いのためだと言われています。

INFORMATION 飯野八幡宮 福島県いわき市平字八幡小路84
 公式HP ● <http://www.noteplan.net/8man/index.htm>



安土桃山時代の豪華絢爛な装飾が残る 国宝・大崎八幡宮

執筆: 櫻田



仙台的鎮守・大崎八幡宮の社殿と初詣の様子



1月14日に行われる冬の風物詩「松焚祭」

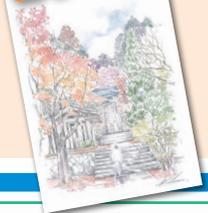
『松焚祭(どんと祭)』で全国的にも知られている、仙台の八幡さま『国宝・大崎八幡宮』。

伊達政宗によって建立された権現造の社殿は、艶やかな彩色と彫刻が見事で、桃山様式を今に伝える貴重な建築物です。

また、戌年・亥年生まれの守護神であり、本尊でもあります。仙台の観光スポットを循環するバス『るーぶる仙台』を利用したの仙台散策もおすすめです。御参拝にいらしてみませんか。

INFORMATION 国宝・大崎八幡宮 宮城県仙台市青葉区八幡4丁目6-1
 公式HP ● <https://www.oosaki-hachiman.or.jp/>

おすすめ!



今号の表紙を飾る「いわきひとまち百景」のポストカードは、HPの「買い物広場」からお求めいただけます!

「関伽井嶽薬師」 1枚 132円
<http://shop.iwaki-i.com/?pid=37019317>
 ●下記の店舗でもお求めになれます。



いわき市役所 売店/いわき合同庁舎 売店/道の駅 よつくら港/丸ほん/銘品プラザ(いわき・ら・ら・ミュウ 1F)/いわき市立草野心平記念文学館/坂本紙店/小名浜オーシャンホテル&ゴルフクラブショップ/JA福島さくら新鮮やさい館(谷川瀬)/スプリゾートハワイアンズ/いわき市石炭・化石館ほるる/いわき市暮らしの伝承郷/ブックエースイオンモールいわき小名浜店/パピルス/いわき市勿来関文学歴史館/heureux(ウーラー)/Rinka 他 (順不同)

いわきマーチングの**買い物広場**

IWAKI MARCHING SHOPPING PLAZA

「いわきマーチング通信」を設置していただけるお店(場所)を募集します



採用活動における注目度アップで他社の一歩前へ
株式会社 いわき印刷企画センター

本 社 〒970-0107 福島県いわき市平荒田目字田中内南149-1
 Tel.0246-34-4600 Fax.0246-34-2070
 仙台営業所 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2丁目6-15 チコウビル5階
 Tel.022-724-1601 Fax.022-724-1604

HP <https://iwaki-i.com> Mail info@iwaki-i.com

企業映画化プロジェクト



Webでも通信をご覧いただけます